



神戸低侵襲がん医療センター
Kobe Minimally Invasive Cancer Center

看護部のご案内



KMCC

看護部理念

やさしさとこころを込めて

患者さんご家族に寄り添い

信頼される看護を提供します



看護部基本方針

1. 患者さんを中心としたチーム医療・地域連携を通して、QOLを支える看護を実践します
2. 患者さんの権利を尊重し、個別性を重視した看護の提供に努めます
3. 患者さんに寄り添い、支える看護を提供するために、人間性豊かな医療人の成長を目指します
4. 最新のがん医療・がん看護の提供に必要な知識と技術を得るために、自己研鑽に励みます

KMCC 看護部公式キャラクター



ていてい

しんしん



しゅうしゅう

イラスト：嵯峨美術大学
森 彩夏さん

看護部長ご挨拶



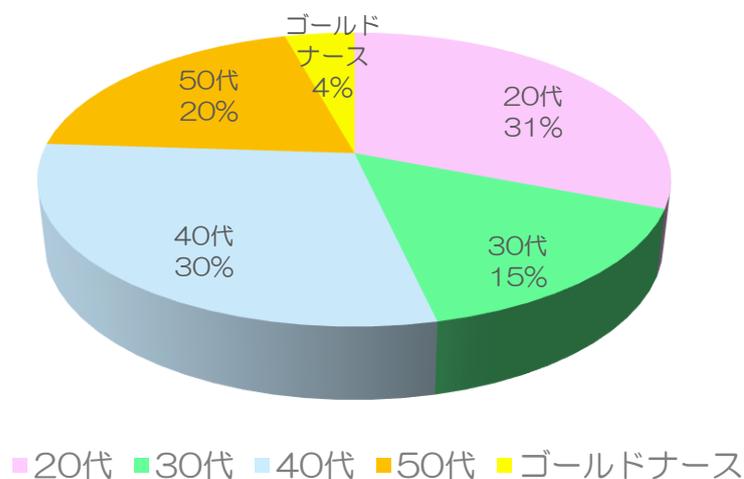
神戸低侵襲がん医療センターは、「低侵襲がん医療」に特化した病院です。「低侵襲」とはいえ、侵襲がないわけではありません。がん治療を受けている患者さんは、日々不安とともに過ごされています。身体的苦痛の中、がん治療と戦っている患者さんもいます。看護師は、24時間365日、そのような患者さんを見守り、支え、時にはともに泣きながら、寄り添う看護を実践しています。患者さん1人ひとりに合った看護を考え、実践しています。思うようにいかず、患者さんから厳しい言葉を受けることもあります。皆の思いは1つです。「がんと向き合い、その人らしく生きることを支える」。そのような看護ができるよう、他職種と協働し日々研鑽に励んでいます。がん看護のスキルアップが実践できる環境が整った病院です。



看護部概要

概 要	
看護体制	3階病棟 40床 (急性期一般 10:1)
	4階病棟 40床 (地域包括ケア病床 20床を含む 10:1)
看護提供方式	日替わり受け持ち制 (一部プライマリ・ナーシング)
勤務体制	変則2交代制 日勤 8:30~17:00 夜勤 16:30~翌日 9:00
休日	4週8休 有給休暇：入職日により変動あり (初年度は15日付与)

看護師年齢層



看護部教育理念

病院の理念・看護部の理念の実現に向けて、学習と役割遂行できる人材を育成する

教育目的

1. 安全で確実な看護実践能力を高めるために必要な専門知識・技術の向上を図る
2. 主体的・理論的に看護実践を行うために看護観・職業観を養う
3. 主体的な学習を通して、専門職として自分で判断し、行動できる能力を養う
4. 職場における自己の役割を認識し、お互いに尊重しあい、協働しながら職務を遂行する姿勢を養う

教育

卒後教育（1年目～3年目）制度あり
既卒教育制度あり

研修

年間20テーマの研修計画に加え、リソースナース会や部会（緩和・化学療法・入退院支援等）による研修を計画

トピックス研修の開催

例）倫理・アンガマネージメント・がん看護について…等

KMCC キャリア開発支援

キャリア開発とは、
個々の看護師が、組織の目標をふまえて各個人及びライフサイクル
に応じて、組織の支援を受けながら、臨床実践能力の向上に自ら取
り組むこと

神戸低侵襲がん医療センター看護部は、
KMCC キャリア開発ラダー
(ラダーレベルⅠ～Ⅴ)を指標とする



資格取得制度

資格取得制度あり

キャリア支援制度あり

- がん看護専門看護師
(看護系大学博士課程修了・実務研修5年以上うち専門分野3年以上)
- がん化学療法看護認定看護師
- がん放射線療法看護認定看護師
- 緩和ケア認定看護師
- がん性疼痛看護認定看護師
- 皮膚・排出ケア認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 在宅ケア認定看護師 (訪問看護認定看護師)
(実務研修5年以上うち専門分野3年以上・認定看護師教育課程6カ月615時間以上)

各部署ご紹介

3階病棟

呼吸器腫瘍内科・腫瘍内科・放射線治療科の病棟です。

主に肺がん・食道がん・リンパ腫の患者さんの薬物療法や放射線療法を行っています。

薬物療法は日進月歩で発展しています。

看護師はその変化に柔軟に対応できるよう、医師や薬剤師と密に連携を取りながら、正しい知識のもとに安全な看護を実践しています。

また、外来通院や在宅移行を目指した退院支援を必要とする患者さんも多く、多職種と連携し、患者の社会復帰に向けたリハビリテーションやセルフケア支援など、患者さんとご家族が安心して療養生活を送れるよう支援しています。

患者さんの年齢層は幅広く、病気のステージも様々です。

はじめての治療で不安で押しつぶされそうな方

病気の進行にショックを受けておられる方

終末期を迎えどう生きていくか自分に向き合っておられる方

様々な局面の患者さんがいます。

病気のことを家族にどう伝えるか、

仕事を続けていけるか、

育児や介護はどうするか、

お金はどうするか、

など生活していくための患者さんの不安や気掛りはつきません。

一方で、患者さんそれぞれに大切にしていることがあり、

生きるための確かな希望をもっておられます。

患者さんの気掛かりや大切にしていることに一緒に向き合えたとき

「看護ってなんて楽しいんだろう」と実感します。

「患者さんの気掛かりや大切にしていることに向きあうこと」を心がけ、患者さんの半歩先を歩きながら

患者さんに寄り添える看護を目指しています。



4 階病棟

がんの低侵襲治療である動脈塞栓療法や放射線治療、
がんに伴う心身の苦痛を緩和する緩和ケアの患者さんが主に入院されている
病棟です。

がんの治療期から看取り期まで全ての時期の患者さんが入院されており、
その時期に合わせた最適なケアが提供出来るよう他職種と共にチームで
関わっています。

当病棟には地域包括ケア病床があります。

がん患者さんは、がんと共生しながら日常生活を送っています。

仕事や子育てをしながら治療を受けられている方、老老介護、独居の方など
生活背景も様々です。

そのような中で、患者さん一人一人のゴールを見据えて多職種で連携し、
入院中だけでなく退院後も安心して穏やかに療養生活を送っていただけるよう
退院支援・退院調整を行っています。

高齢がん患者さんが増える中、

認知症やせん妄に対する看護にも積極的に取り組み、

希望したがん治療が最期まで完遂できるように看護を行っています。

そのような中で、患者さんやご家族に寄り添った看護を行うことを心がけて
います。そのためには、相手をしっかりと知ることが必要であり、

患者さんやご家族とゆっくり話をする時間を持つ事を大切にしています。

話をしっかりと聴き、その患者さんに合った最適な看護が提供出来るように、
スタッフ全員で情報共有を行い関わることを心がけています。

そして、患者さんが安心して入院生活を過ごしていただけるように、

K : Kindness やさしさ

M : Mind 心ころ

C : Comfort 快適さ

C : Confidence 信頼

を大切に日々看護を行っています。



外来のご紹介

化学療法・放射線療法・内視鏡・IVR・PET-CT を含む画像検査を行なっています。

2023年よりハイパーサーミア（高周波温熱療法）を導入し、放射線療法・化学療法と併用することで、治療効果を高めることが期待されています。

化学療法に必要な中心静脈ポート留置は、西日本 1 位の件数を行っています。

子育て中の看護師も多く、家庭と仕事を両立しながら働いています。

エリアによって、早出・残り番がありますが、スタッフ間で調整しながら業務を行っています。

	症例件数（2022年～2023年）
化学療法	約 2650 件／年 （外来：約 1850 件） （病棟：約 800 件）
放射線療法	約 14300 件／年
内視鏡	約 1650 件／年
IVR	約 970 件／年
PET-CT	約 2840 件／年



地域医療連携室

院内で最も多く多職種と関わる小さな部署です。

多職種で協働して患者さんの入退院や、他院・他施設からの受け入れ連絡業務を行っています。

また、外来・病棟のスムーズな連携が図れるシステムの検討や、リンクナースの育成に携わっています。

神戸市を中心に病院・施設・診療所・訪問看護ステーション等との交流を図り、顔の見える関係を築けるよう活動しています。

看護師の1日

外来

外来全体ミーティング



診察部門

採血
注射
処置
問診
診察介助
化学療法等

放射線治療部門

問診
診察介助
治療介助

検査部門

問診
診察介助
検査説明
検査介助

記録・明日の準備



病棟

申し送り
点滴準備

化学療法

検温
検査搬送
放射線治療搬送
保清

食事介助

カンファレンス

シーツ交換

入浴介助

検査説明等
報告
記録

申し送り

8 : 30

9 : 00

9 : 30

10 : 00

10 : 30

11 : 00

11 : 30

12 : 00

12 : 30

13 : 00

13 : 30

14 : 00

14 : 30

15 : 00

15 : 30

16 : 00

16 : 30

17 : 00

施設のご紹介

休憩室やカンファレンス室・家族説明室は、それぞれ個別に独立し、ゆったりとしたスペースとなっています



カンファレンス室

布団乾燥機もあり清潔な空間に一人でゆっくり休める個室になっています



スタッフ休憩室



仮眠室



ナースステーション



ロッカー

更衣室以外に病棟内に個人の鍵付きロッカーもあり安全です



多職種でカンファレンス中
患者さんに合った治療や方向性を考えていきます



病棟廊下



入院中も
四季を感じて頂きたいと
看護助手の思いから
四季折々の手作りポスターを掲載しています





KMCC



庭園

病棟にある都会のオアシス
患者さんの息抜きの場であり
リハビリテーションの場でもあります
四季折々の植物が管理され
癒された患者さんグループより
『そよ風広場』と命名頂き
看板も寄贈頂きました



リハビリテーション室



化学療法室



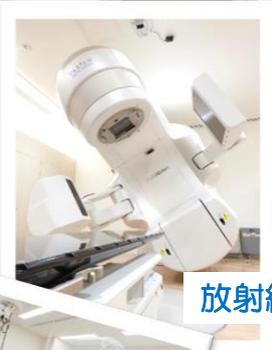
外来



売店



アンギオ室



放射線治療室



神戸市 おすすめ スポット



- ### 神戸グルメ
- ・洋食
 - ・カレー
 - ・そばめし
 - ・味噌だれ餃子
 - ・パン

三ノ宮駅からのアクセス

ポータルライナーのご利用
 三宮駅より乗車し、
 市民広場駅下車。約10分。
 市民広場駅から、徒歩5分。
 本院直結の歩道橋で濡れずに通勤できます。
 (改札を出て左→歩道橋を南→右手1つ目分岐→本院)





神戸低侵襲がん医療センター

Kobe Minimally Invasive Cancer Center

〒650-0046

神戸市中央区港島中町8丁目5番1

TEL : 078-304-4100

FAX : 078-304-0041

面談を希望の方は、
本院HP採用フォーム
をご覧ください

KMCC



Instagram



YouTube



LINE